

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103466
法人名	(有)ケイ・エム・エス
事業所名	グループホームさしもも
所在地	松山市高岡町617番地
自己評価作成日	平成24年1月19日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年2月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

バスの路線に面した静かな住宅街に建ち、民家改造ユニットと近代的建物ユニットの2ユニットである。一般家庭的、機能的な構造とユニットそれぞれに特徴があり廊下で行き来出来るようになっている。母体の病院と24時間体制を取っており、利用者様安心して暮らしておられる

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所は自治会に加入されている。散歩により季節には、よく散歩に出かけておられ、近所の方達とあいさつされたり、時にはお花や野菜をいただくこともある。
 利用者のお誕生日には、ご家族も一緒にお祝いできるようにお誘いしたり、ご家族の来訪時には、利用者と一緒に過ごせるように、建物2階の談話室も使用できることを伝えておられる。
 調査訪問日には、お誕生日の利用者がおられ、彩りよく盛り付けられた食事で、利用者同士で「おいしかったね」と話しておられた。ミキサー食の利用者には、職員が「ほうれん草のおひたしです」等、メニューを伝えながら介助されていた。食材は、全体的に小さめに切るようにされている。食後、ご自分の食器を下げ、又、他の方のお膳も下げてくださいる利用者もおられ、職員は台所でその都度「ありがとうございます」とお礼を言っておられた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25) 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19) 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38) 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20) 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38) 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4) 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37) 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12) 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49) 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31) 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28) 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームさしもも

(ユニット名) さしもも(1)

記入者(管理者)

氏名 矢野 澄美子

評価完了日 平成 24 年 1月 19日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)	
			分かり易く目に付く所に理念を掲げ理念に基づいて地域へのサービスを展開する	
			(外部評価)	
			事業所開設時から「理解・信頼・自由」と、事業所理念を掲げておられる。又、「やさしい笑顔で楽しくともに生活いたしましょ」等、ユニットごとに「目指すこと」が作られてある。管理者は、「誰でも気軽に来てもらえるような事業所」作りに取り組みたいと考えておられる。	理念は、事業所が取り組みをすすめていく上で拠り所となるものでもあり、日々の中で管理者は、理念について職員に語り、牽引していかれることが期待される。さらに、今後、職員が一丸となってケアに取り組めるよう、この機会を活かして理念について話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			回覧板での繋がり、散歩、買い物時挨拶を交わしたりしている	
			(外部評価)	
			事業所は自治会に加入されている。散歩によい季節には、よく散歩に出かけておられ、近所の方達とあいさつされたり、時にはお花や野菜をいただくこともある。事業所では今後、「利用者が子ども達とふれ合うような機会を作り、利用者の笑顔を引き出したい」と考えておられる。さらに、事業所と地域との間でお互いに知り合うような取り組みをすすめ、地域との関係を深めていかれてほしい。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			出来ていない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>質問、意見、要望を受けサービス向上に活かしていきたい</p> <p>(外部評価)</p> <p>2ヶ月毎に会議を開催されており、消防署の協力を得て心肺蘇生術の講習やピアノ等の演奏会、七夕祭り等と合わせて会議を行い、「参加のしやすさ」等にも配慮して会議をすすめておられる。民生委員の方からは、地域の一人暮らしの高齢者数を教えてもらっている。3月の会議時には、地域包括支援センターの協力を得て、参加者と一緒に「筋力アップ運動」を行うことを企画されていた。今後、地域からのメンバーを増やす等、会議を活用して地域のネットワーク作りをすすめていかれてほしい。又、会議を通じて他事業所との交流等もすすめていかれてはどうだろうか。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>今のところ、取組みはされていない</p> <p>(外部評価)</p> <p>地域包括支援センターの担当者が、運営推進会議に参加してくださっており、嚙下体操のDVDをくださり、午後3時ころから行うようにされている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束をしない様防止に努めている</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員が外部研修で身体拘束等について勉強した際には、他の職員も資料を見られるように申し送り等で知らせておられる。現在、ベッドからの転落の心配がある利用者の方もおり、ご家族と相談してベッド柵を使用されている。職員の人手の都合によっては、玄関を施錠することもある。身体拘束や玄関の施錠については、事業所の対処について、利用者の行動意欲を抑制することにつながっていないか、又、利用者が閉そく感を感じていないか等を点検されてみてはどうだろうか。事業所は、理念に「自由」を掲げておられ、又、グループホームは、利用者の自由な暮らしを支援することが特徴でもあり、今後さらに、職員のケアの工夫でカバーできることはないかということを考え続けていかれてほしい。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	カンファレンスをし一人ひとり利用者のことを理解し防止の徹底に努めている	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	今後必要に応じて検討する	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	事業所のケアについての考え方や取り組み、対応可能な範囲について説明している	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	十分説明し意見箱を設置している	
			(外部評価)	ご家族の来訪時には、細やかに利用者の日頃の様子を報告することに努めておられる。運営推進会議には、協力いただけたらご家族を事業所でピックアップして参加いただいている。利用者のお誕生日には、ご家族も一緒にお祝いできるようにお誘いしたり、ご家族の来訪時には、利用者とゆっくり過ごせるように、建物2階の談話室も使用できることを伝えておられる。	管理者は、「事業所主催の行事時に、ご家族にも参加いただけるよう声かけしたい」と考えておられる。ご家族に事業所の取り組みを知ってもらえるよう情報発信を工夫されたり、ご家族とともに活動するような機会作りを工夫して、事業所の取り組みを知っていただき、事業所への意見や要望をより具体的に引き出していかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			職員間での意見交換は出来ている	
			(外部評価)	
			利用者個々に担当の職員を配置して、介護計画の作成等にもかかわるようにされている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			出来る限り利用者様の状態やペースに合わせたローテーションを組んでいる。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			提供はされている	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			出来る範囲で参加している	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			本人、家族から話を聴き要望等を受け止め努力している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 出来ている	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 福祉用具以外今のところ他のサービス利用ケースはありません。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 馴染みの物及び昔話での提供しては関係を築く努力をしている	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 良い意味での家族関係を大切にしよう心掛けをしている	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 電話連絡をする事もあり来所時には写真等も見て頂き普段の生活も説明努めている (外部評価) 利用者が、ご家族宛てに年賀状を出せるよう支援されており、字を書くことが難しい利用者には、職員が手を添えてサポートされた。ご家族からは、「こんなに書けるのですね」と喜びの声も聞かれたようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	
			一人ひとりの事を把握しコミュニケーションが取れるような会話の橋渡し等支援に努めている	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	
			生活をともにする事で一人ひとりの思いを把握、その人らしい暮らし方を検討している	
			(外部評価)	
			職員は、日々の利用者との会話をメモして、申し送り等で伝えるようにされており、利用者の気持ちを大切にしようと努力されている。	今後さらに、利用者主体のケアに取り組んでいくためにも、利用者のこれまでのことを知ったり、現在のこと、これからの暮らしの希望等を知ることができるような取り組みをすすめていかれてほしい。さらに、終末期のあり方についても、個々の希望を探ってみてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	
			日常生活の会話、行動をかぞくの方話を聞き把握に努めている	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	
			一人ひとりの日々の過ごし方を把握し言動の変化に気付くよう努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者さんの担当者と本人、家族の意見希望を話し合いケアプランを作成している (外部評価) 介護計画は、3ヶ月ごとに見直しておられ、毎月行うユニットごとのカンファレンス時に、気になる利用者のモニタリングを行っておられる。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の様子、実践状況、気づきを経過観察記録に教室に記入。職員全員で情報を共有し介護、ケアプランの見直しに活かしている	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 本人や家族の希望に柔軟に対応するよう努めている	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) あまり出来ていない	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>何かあれば医師、家族さんに報告するようしている。希望を大切に心がけている</p> <p>(外部評価)</p> <p>現在、利用者はすべて系列医療機関がかかりつけ医となっている。協力医療機関からの往診や受診時には、職員が付き添い、医師からの説明時には、ご家族も同席されている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>支援している。 月2回の往診ノートをチェックしている</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>心がけている。 退院してまたホームで安心して過ごせるよう努めている</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>わからない</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者の状態が重度化した場合は、系列医療機関の医師とご家族、事業所職員が話し合い、入院や他施設入所となる場合が多いようだ。今後さらに、利用者の終末期の希望やご家族の意向等も探り、事業所でできることを話し合ってみてはどうだろうか。利用者やご家族から「事業所で最期まで過ごしたい」という希望があった場合、事業所で利用者を支えられるような体制作りについても、検討されてはどうだろうか。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			何かあれば医師に容態を報告するように努めている。他の職員の方にも相談実践するよう努力している	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			今のところわからない	
			(外部評価)	
			東日本大震災後、職員で話し合い「津波発生時には、隣接するマンションの最上階に避難する」ことを決められた。運営推進会議時には消防署の協力を得て心肺蘇生術の講習を受けられた。さらに、今後いざという時、職員は慌てず対応できるよう、いろいろな災害の場面を想定して避難訓練を重ねていかれることが期待される。利用者、職員の安全安心のための取り組みを計画的にすすめていかれてほしい。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			要望を聞き出来る範囲で努めるよう心がけている	
			(外部評価)	
			職員の名前を利用者に知ってもらえるよう、職員は名札を付けておられる。利用者同士の関係等を踏まえ、席順等を検討されている。事業所では、時に職員の利用者への言葉かけや対応については、気になるような場面もみられるようだ。時々、自分たちのケアを振り返ったり、点検するような機会やご家族等にもうかがってみよう機会も作ってはどうか。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			出来る範囲で努めているつもりだが中々難しい	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) *起床時間や朝食時間は一部多少早い方もいるが、希望に沿うように対応している 散歩、日向ぼっこなど出来るだけ本人の要望に合わせている	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) *散髪、髭剃りなど適宣声かけし支援している *衣服を購入する必要な場合は、本人の好みに合ったものを選ぶようにしている	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 楽しんで食事出来る雰囲気づくりに心がけているが準備、食事の片付けは食事介助の必要な方が多く一緒に出来ていない状況である (外部評価) 調理専門の職員を配置し、法人の栄養士が立てた献立を参考に事業所で食事作りをされている。食材は、事業所で注文して配達してもらうようになっている。食事中、職員は利用者の介助に徹しておられ、後に、別部屋で食事をされている。調査訪問日には、お誕生日の利用者がおられ、彩りよく盛り付けられた食事で、利用者同士で「おいしかったね」と話しておられた。ミキサー食の利用者には、職員が「ほうれん草のおひたしです」等、メニューを伝えながら介助されていた。食材は、全体的に小さめに切るようにされている。食後、ご自分の食器を下げ、又、他の方のお膳も下げてくださる利用者もおられ、職員は台所でその都度「ありがとうございます」とお礼を言っておられた。	朝食は、利用者が起きて来られた時間に合わせて支援されているが、夕食の時間は、現在、16時半からとなっている。利用者のこれまでの生活習慣等も踏まえて、食事時間を検討されることが望まれる。又、おいしい食事を楽しむという観点から、職員のかかわり方についても工夫できることはないか話し合われ、利用者個々がおいしい食事をより楽しむことができるよう、支援に工夫されてほしい。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じて時間をかけて摂取量を考慮し支援できている	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 拒否される方もおり中々毎食後きちんと全員出来ているとはいえないが、就寝前はほぼ支援できている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) *排泄チェックをすべて行いパターンを把握し自立している方以外は時間を決め、声かけ支援できている。 *またオムツの使用を減らすよう工夫している (外部評価) 職員が誘導する等して、トイレで排泄できるよう支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) *水分、根菜、果物など十分摂れるようにしている *便秘薬を服用しているが医師に報告相談の上常に適量服用出来るようにしている	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 午後曜日を決めているが体調不良、拒否ある時は曜日や時間を変更して出来る限り本人の希望に合わせている (外部評価) 月～土曜日、一日3名ずつ入浴できるよう入浴表を作っておられ、年間を通して、利用者一人が週2回入浴できるよう計画されている。入浴日に、入浴を嫌がる利用者がある場合には、他の利用者と変わってもらうようにされている。民家改修型のユニットには、一般家庭のような浴槽、もうひとつのユニットには、いすに座ったまま浴槽で温まれる機械浴が設置され使用されている。湯温や温まる時間等は、利用者の健康状態にも配慮して希望に沿うよう努めておられる。	さらに、利用者主体の支援を目指して、利用者一人ひとりの習慣や好み、状態等を踏まえた入浴支援に工夫され、個々がより気持ちの良い入浴ができるよう取り組まれてほしい。
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 安眠、休息の支援はできている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 常に一覧表に記した服薬時には手渡しで最後まで確認している	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 入居前の生活スタイルを考慮しそれを活かした支援、個人の自主決定を尊重した生活を送れるよう支援	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ホーム周辺の散歩をはじめ買い物に出かける喜びを感じてもらえるよう支援	
			(外部評価) 利用者からは外出を望まれる声は多いようであるが、職員の手や車の事情、冬の寒さや夏の暑さ等のこともあり、外出する機会は少なくなっている。居間からテラスに出られるようになっていて、ベンチもあり、日向ぼっこできるようになっている。	事業所では、利用者とは出かけて楽しむ機会を増やしたいと考えておられる。今春から散歩の機会を増やしたいと話しておられた。今後さらに、利用者が地域の中に出かけ生活できるような取り組みを積極的にすすめられるよう、評価の機会や運営推進会議等を機に、ご家族、地域の方、法人も交えて話し合われてはどうか。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 職員と一緒に外出時は本人が支払い、買うことに満足してもらえるよう工夫をする	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者さんの要望があれば、電話や手紙を出せる様な支援をし、家族(キーパーソン)から電話や手紙をしてもらうよう支援する	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			入居時には利用者さんの使い慣れた物を取り入れ生活感を感じられるように支援する	
			(外部評価)	
			民家改修型のユニットと2階建のユニットは廊下でつながっている。調査訪問時には、食事ができるにおいが事業所全体に広がっていた。玄関を入ったところに畳の間があり、利用者が洗濯物をたたむ際等にも使用されている。利用者は、居間のテーブル席に座ってテレビを見たり、おしゃべりしたり、食事ができる様子等を見たりして過ごされていた。大きく作った日めくりカレンダーを掛けておられ、雑誌や音楽のカセットテープ、ビデオ等もあり、又、ゲーム等も準備されている。クリスマスパーティーの飾りをそのまま飾っておられるユニットもみられ、又、廊下の壁画は、色紙等で色鮮やかに飾られていた。さらに、利用者が季節を感じられるような工夫や、又、利用者一人ひとりの居心地の良さについて等、共用空間の環境を点検する機会にされてはどうか。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
			和室やベランダを利用して独りでくつろげたり、お茶を飲むスペースで利用者同士が気軽に話せる雰囲気作りをする	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			壁や玄関に飾り付けをして、入居者さんに季節感を感じてもらおうようにしている	
			(外部評価)	
			ご自分でひもを引っ張って電気を点けたり消したりできるようにされている方がみられた。タンス等は懐かしい雰囲気のものも備え付けられていた。映画がお好きな男性利用者は、ビデオテープを持ち込まれて自室で観賞されている。タンスの上には、ご両親の写真を額に入れ置いている方も見られた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
			家庭的な建物であり、手すり、バリアフリーにもなっており、安全な環境で生活できるように工夫している	